

## 2014年人間科学第2問

2 正五角形 ABCDE がある。点 P は最初、頂点 A にあり、さいころを投げるたびに目数だけ正五角形の頂点を反時計まわりに移動する。このとき、

(1) さいころを 1 回投げたあと、点 P が頂点 A にある確率は  $\frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}}$  である。

(2) さいころを 3 回投げたあと、点 P が頂点 A にある確率は  $\frac{\boxed{\text{クケ}}}{\boxed{\text{コサシ}}}$  である。

(3) さいころを 3 回投げたあと、点 P が初めて頂点 A に止まる確率は  $\frac{\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セソ}}}$  である。